

講演会やお笑いライブ 産大「紅葉祭」12・13日に

新潟産大の学園祭「紅葉祭」

(学生奉行委員会主催) 撇店のほか、スタンプラリ

が12・13日、学内で多彩に
行われる。今年で36回目。
「飛べ」をスローガンに、
ゼミナール展示・発表、模

り上げる。時間は午前10時

～午後5時。

父母の会文化講演会は12

日午後1時から、221教

室(350席)

で気象予報士・防災士の國本未華さん

による「気象災害にどう備

えるか」。

國本さんは大学

3年で気象予報士の資格を

取得し、在学中から気象予

報などをを行うウェザーマッ

プに所属。卒業後はテレビ

番組などで活躍し、現在

「Nスタ」(水・木曜)

出演する。3時から中庭で

坂牧鷦鷯さん(長岡市出身)

の太鼓パフォーマンス。午

前11時半～正午、同大マスコットキャラクター「サンチャッカル」とえちごンのコラボが登場する。

お笑いライブは13日午後

1時から体育館で。漫才

コンビの東京ホテイン、

ウォーターズの2組が出

演する。入場無料だが、午

前10時半から整理券を配布する。

豪華賞品が当たる

bingo大会は3時半か

ら。問い合わせは学務課

(電話24・6402)。最

新情報は同大学友会インス

タグラム(@nsu_gaku

yuukai)で。

地元開催 飛躍を期待 日本選手権向け壮行会



水球ブルボンKZ

水球の日本選手権に出場するブルボンKZ男女の壮行会=9日、まちから

12日に柏崎アクアパークで開幕する水球の第100回日本選手権大会に出場するブルボンウォーター・パロクラブ・柏崎（ブルボンKZ）男女チームを激励しようと、クラブを支援する企業3の「まちから」で行われた。クラブを支援する企業たるやサポーターら約200人が出席。地元開催での選手の活躍を願った。

壮行会はサポートーズク

ラブが主催し

た。冒頭、同

クラブ会長の

小出昭夫・柏

崎信用金庫理

事長が「練習

の成果を発揮

し、柏崎を熱

く盛り上げて

ほしい」と激

励。櫻井市長

も「100回

の大会で

が活躍すること

を心から願

う」と期待を込めた。男子は2018年以来、6年ぶりの王座返り咲きを見越える。今夏のパリ五輪に出場した3選手もメンバーエ入りし、戦力的にも充実している。女子は8年ぶりにメダル獲得を狙う。攻撃では東京五輪に出場した小



出来未選手が要となる。男女ともに海外選手が加入し、選手層も増した。男子は平田一成主将(29)は「私たちにとって大事な場所である柏崎で100回

大会が開催されることほうれしい。この数年間分の想いを語った。壮行会では柏崎総合医療センターで患者がリハビリの一環で製作した手芸作品も贈呈された。色とりどりの手芸用の紙をぬらして玉コットキャラクターである

シャチなどを表現。チームを応援しようと約50名がけて取り組んだという。最後にチームのネーミングライツ（命名権）スポンサーであるブルボンの吉田康社長の掛け声で「エイエイオー！」と声を合わせ、大会に向けて士気を高めた。

シャチなどを表現。チームを応援しようと約50名がけて取り組んだという。最後にチームのネーミングライツ（命名権）スポンサーであるブルボンの吉田康社長の掛け声で「エイエイオー！」と声を合わせ、大会に向けて士気を高めた。

くらしの情報サービス

柏崎案内コーナー

催
し
物

▼新潟県大河津祭。12時、学内で屋外発表や模擬店、音楽ライブなど、父母の会文化講演会は12時後1時から3時まで、(500席)で吹奏楽・防災士の國体奉賀などによる祭典が行われる。お美じい音楽が聞こえて、「音楽部ティンバ、ウォーターズ」は13時後1時から体育館で入場無料(午前10時半から整理券配布)。問い合わせは学務課(電話246402)へ。



「応援力に」王座奪還



メダルへ「まず1勝」

ブルボンKZ女子

不運な出来を嘆ぐ。理
想のゴールストップの難題。
まだ試合前の一歩を踏み出せ
ない悔いの残る結果。
悔いなく相手にこじらせて
やがては、自分たちの力で勝つ。
悔いなく金賞を獲得する。
悔いなく金賞を獲得する。
悔いなく金賞を獲得する。

でも、現状ではまだ出発点
政策は東京五輪に出発
きた。小治優へ贈るは今、
い手ではなう」とおもふ



第100回日本選手権水球競技組み合わせ

会場：柏崎アクリパーク

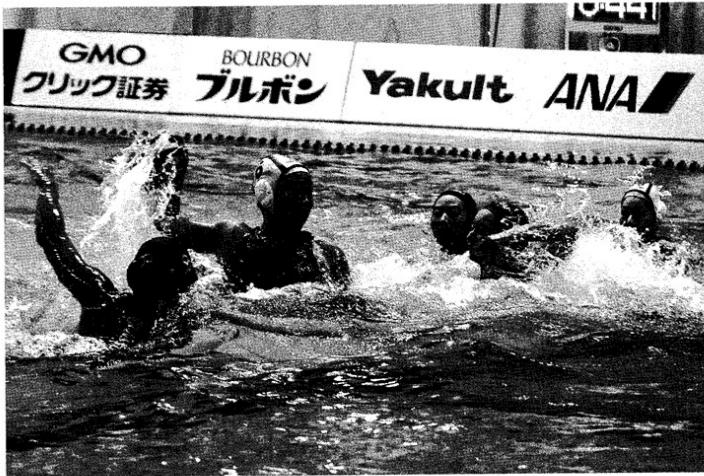
男子	
IKA1-Kingfisher74	12日19:00
筑波大	13日15:00
慶應大	12月15:15
高体連	14日15:15
修業大	
ブルボンKZ	12日16:30
三建・3CLUB	13日13:30
日本体育大	12日17:45
※3位決定戦は14日11:45~	

女子	
秀明大水球クラブ	12日13:15
東京女子体育大	13日11:30
京都府立種子高	12日9:30
秀明八十代水球クラブ	14日13:30
Violet Stars	
種法会	12日10:45
ブルボンKZ	13日10:00
NSSU Water Polo Club	12日12:00
※3位決定戦は14日10:00~	

2024年（令和6年）10月11日（金） 柏崎日報

理券記念市	午後8時から入場無料	午前10時半から、体育館	午後1時から、会場入り	午前10時から、土曜日	13時～18時
★新潟市人「紅葉祭」					

催しもの



ブルボンKZ 女子4強ならず 水球日本選手権が開幕 14日まで

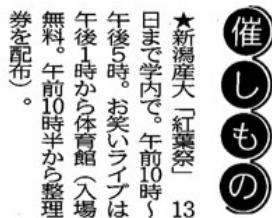
水球の第100回日本選手権大会（日本水泳連盟）が12日、柏崎アクアパークで開幕した。同日正午から1回戦にはブルボンウォーターポロクラブ（柏崎ブルボンKZ）が登場。日本代表経験者多く揃するNSSU Waterpolo Club（22-23敗れ、4強は届かなかつた。大会は14日ま）。同大会の柏崎開催は2013年以来11年ぶり。大会には男女いずれもチームが出場する。日本の頂点を懸け、"水球のまつり"で熱戦を繰り広げる。

会場の柏崎アクアパークでは2階観覧席のほか、ブルボンKZの本拠地となるサブプールサイドには計400席の座席が設けられた。ブルボン女子の試合は、チームタグの青色のTシャツを着用した

11年ぶりに柏崎で開催されている水球の日本選手権大会。チーク3回を決めた小出選手（12日、柏崎アクアパーク）

応援団などがチーフを後押しだす。13回連続決勝、14回連続位決定戦（決勝が行われる）で応援する場合は、市陸上競技場の特設通路から入場料（試合は動画配信サイト「YOUTUBE」のブルボンKZ公式チャンネルでもライブ中継される。

2024年（令和6年）10月12日（土） 柏崎日報





水球日本選手権

ブルボンKZ男子は準V

6年ぶり王者奪還ならず

水球の第100回日本選手権大会が14日まで柏崎アリーナで行われた。最終日は男女の決勝と3位決定戦を実施。3年ぶりに決勝に進んだ男子のブルボンKZは、前半終了後も男子のブルボンKingsは5連覇中のイカイKingsと対戦した。前半は善戦したが、後半に点差を広げられて13-23で敗れ、6年ぶりの王座奪還とはならなかった。

日本選手権の柏崎開催は2013年以来11年ぶり。12日に開幕し、男女各8チームがトーナメント戦を繰り広げた。男子のブルボンKZは12日の初戦で専修大を15-9で撃破。13日の準決勝では2大会連続で決勝進出を阻まれてきた日本体育大学ペナルティースロー（P）

S戦の末、17-14で破った。決勝は現役の日本代表選手が大半を占めるイカイ。

第1ピリオド（P）はパリ五輪に出場した稻場悠介選手がP/Sを着実に決めるなど、一進一退の攻防が続いた。



大会を通じ、攻撃の要となるフローターで活躍を見せた前野考紀選手＝同

た。第2戦も志水祐介選手の得点で食らい付き、前半は7-8で折り返した。第3Pも粘りを見せたが、第4Pはカウンターなどから6連続失点。前野考紀選手が連続得点を挙げて意地を見せたが、13-23と力負けした。

イタリアリーグでプレーする稻場悠介選手は最終日に帰国。3年ぶりにブルボンKZのメンバーで日本選手権に出場し、両チーム最多の7点を挙げた。「相手はほとんどが代表選手で経験の差が出た。この結果を示したかった。持てる力は多かった。持てる力は出し切れたが、実力の差はあった」と平田成主将。稻場悠介選手に加え、棚村克行選手、新田一景選手

日本選手権決勝のブルボンKZ—イカイ。ブルボンKZはゴール前で守りを固める（14日、柏崎アリーナ）

日本選手権決勝のブルボンKZ—イカイ。ブルボンKZはゴール前で守りを固める（14日、柏崎アリーナ）

地元応援団 選手後押し

決勝 スタンドは超満員に



王座奪還を目指すブルボンKZNの先制点に沸くスタンドの地元大応援団＝14日、柏崎アクアパーク

王座奪還を目指すブルボンKZNの男子を後押ししよう」と、柏崎アクアパークのブルサイドや2階観客席は、地元の大応援団で埋め尽くされた。6年ぶりの優勝を願い、大勢の市民らが熱い声援を送り続けた。

決勝には約千人の観客が来場。ブルサイドに応援席を増設したが、立ち見客

が出るほど超満員となつた。第1ピリオドでGKの棚村亮行選手が好セーブを連発すると、スタンドから大歓声が上がった。

ピリオド間も途切れることなく「ブルボン」コール

を送り、チームを鼓舞。地

元開催での優勝には届かなかつたが、試合終了後は「頑張ったぞ」などと子

どが五輪代表選手。よく

理事長は「稻場選手も一時帰国して近年にないチーム

力で臨んだが、相手はほとんどのが五輪代表選手。よく

頑張った」とたたえた。その

上で「地元開催で初めて水

球の試合を見た市民もいる。

迫力や面白さを知つてもらうには十分な活躍をしてくれた」とねぎらつた。

応援をリードした新潟産大1年・中村成哉さんは

「こんなに多くの人が集ま

づくれるとほ思わなかつた。チームがこれまで地元と積み上げてきた歴史が垣間見えた」と感謝。「優勝は逃したが、昨年以上の成績や、いろいろな選手の活躍を多くの人に見てもらえたのはうれしい。次は自分たちが“打倒日体大、Kingfisher”を成し遂げたい」と意気込んだ。

サポーターズクラブ会長の小出昭夫・柏崎信用金庫理事長は「稻場選手も一時帰国して近年にないチーム

力で臨んだが、相手はほとんどのが五輪代表選手。よく

頑張った」とたたえた。その

上で「地元開催で初めて水

球の試合を見た市民もいる。

迫力や面白さを知つてもらうには十分な活躍をしてくれた」とねぎらつた。

小出選手 現役を引退

「最後まで戦い抜けた」

ブルボンKの女子チー
ムを長年けん引してきた小
出未来選手が今回の日本選
手権で現役を引退した。チ
ームの大黒柱として活躍し
続けた32歳は「最後まで大
きな声援を背に戦い抜くこ
とができる」と感慨を込め
た。

12日の初戦でブルボンK
乙は第1ピリオドは競り合
つたが、徐々に点差を広げ
られてNSSUクラブに12
-23で敗退。小出選手は
「今大会に向けて準備して
きたが、こういう結果で終
わつてしまつて悔しい」と
唇をかんだ。

千葉県出身で、高校卒業
後に新潟産大に進学。20
20



小出選手 現役を引退

「最後まで戦い抜けた」

ブルボンKの女子チー
ムを長年けん引してきた小
出未来選手が今回の日本選
手権で現役を引退した。チ
ームの大黒柱として活躍し
続けた32歳は「最後まで大
きな声援を背に戦い抜くこ
とができる」と感慨を込め
た。

21年の東京五輪では日本

代表入り。この日の試合で

も3得点を挙げ、攻守で存

在感を示した。「悔いが残
る試合はしなくなかった。
周りが安心してプレーでき
た」。

選手としては第二線を退
くが、今後もチームを見守
つていくという。「若い世
代も力を付けてきてている。
大会も必ず収穫があった
はず。水球を楽しんでほし
い」。思いはこれからも後

輩につないでいく。

て発表された。

地域貢献と
研究活動

9月6日、村上翔琉さん
(経済経営学科4年)
と奥野飛龍さん(2023
年度卒業生)が、地域
活性化大会第16回研究大
会(会場:名古屋市立大学
津子キャンパス)で発表
を行った。論題は「柏崎
市西山町における道の駅
を活用した買い物難民・
子育て世代支援策の提
言」で、この発表に対し
て奨励賞が授与された。

発表内容は、西山町の現
状分析から地域課題を明
らかにして、その具体的
な支援プランの策定につ
いてである。

これは、昨春から本学
の3ゼミナールが連携協
働して取り組む研究プロ
ジェクトの成果である。
これまでに、学生たちは
先行事例の収集・分析や
現地調査といった地道な
研究活動を行ってきた。
昨年度の「柏崎に関する
研究発表会」での発表を
経て、今回の学会報告に
たどりつき、そして奨励

賞受賞と実を結んだので
ある。当初から学生たち
を指導してきた安達明久
特任教授とともに、会場
に同行した私にとっても
大きな喜びであった。

今回の一連の経験を通
じて、村上さんは「大変
貴重な経験をすることが
できた。今回の発表に満
足せずいつそう研究に励
んでいきたい」と述べて
いる。奥野さんも「これ
からも小規模自治体で何
ができるかを考え、そし
て実践していくよう力
を尽くします」と意欲を
みせていく。「のちに、
学生が研究活動を行い、
その研究成果を学会で発
表したことは、地域の発
展に寄与するとともに、
大きく成長する貴重な機
会となつた。

「新潟市で大活躍 地域に貢献 地域をみこす 実践活動レポート」

算受賞と実を結んだので
ある。当初から学生たち
を指導してきた安達明久
特任教授とともに、会場
に同行した私にとっても
大きな喜びであった。

今回の一連の経験を通
じて、村上さんは「大変
貴重な経験をすることが
できた。今回の発表に満
足せずいつそう研究に励
んでいきたい」と述べて
いる。奥野さんも「これ
からも小規模自治体で何
ができるかを考え、そし
て実践していくよう力
を尽くします」と意欲を
みせていく。

最後に、本研究プロジェクトを遂行する上で
指導ご鞭撻(べんたつ)ご支援を賜りました多
くの方々に深く感謝申し
上げたい。これからも、
本学は教育と研究を通じ
て、地域の発展のために
尽力していく所存であ
る。

経済学部助教、濱谷朋
樹
(同大学地域連携センタ
ー)



社会教育を一層推進

研究大会 県内各地から180人

第24回新潟県社会教育研究大会柏崎・刈羽大会、第63回中越地区社会教育研究集会（県社会教育委員会主催、柏崎市・刈羽村教育委員会共催）が開かれた。柏崎が会場となるのは県大会が1998年以来、中越地区大会は2009年以来。市民プラザには県内各地から約180人が集まり、講演や分科会を通じて研さんを深めた。



大会は、新型コロナウイルスの影響で社会やライフスタイルが変化する一方、社会教育に持続的な地域コミュニティの基盤となることが求められる中

で、全ての人のウェルビーイング（個人の幸せと社会の良い状態）を実現するためどのようなことが必要になるかを考える機会にする。大会は9日に開かれた。

冒頭のあいさつで、大会長は「時代と共に、社会教育の在り方がさまざまに変わっている。ネガティブな見方ばかりでなく、豊かなつながりの中で一人一人が育まれてほしい」と歓迎された。

講演では、権田恭子・新潟産大准教授が「地域に学び、地域をおこす」地域連携活動を通じた学生の成長などを紹介。同地域連携センター長である権田准教授は「地域を『知る』、地域の方と『交流する』、地域のために『行動する』」。

柏崎市が開催地になった第24回新潟県社会教育研究大会。講演会、分科会が進められた。市民プラ

ブではなく、ポジティブに捉え、大会でいろいろと学ばせてもらいたい」と述べた。開催地の桜井市長は「社会教育は人との集まり、つながりの中で一人一人が育まれることで、育まれることで解説する。皆さんの力、知識で楽しく豊かなつながりが育まれてほしい」と歓迎した。中村義郎・柏崎市社会教育委員長が大会実行委員長、安澤和雄・刈羽村社会教育委員長が副実行委員長を務めた。

講演では、権田恭子・新潟産大准教授が「地域に学び、地域をおこす」地域連携活動を通じた学生の成長などを紹介。同地域連携センター長である権田准教授は「地域を『知る』、地域の方と『交流する』、地域のために『行動する』」。

柏崎市が開催地になった第24回新潟県社会教育研究大会。講演会、分科会が進められた。市民プラ

ブではなく、ポジティブに捉え、大会でいろいろと学ばせてもらいたい」と述べた。開催地の桜井市長は「社会教育は人との集まり、つながりの中で一人一人が育まれることで、育まれることで解説する。皆さんの力、知識で楽しく豊かなつながりが育まれてほしい」と歓迎した。中村義郎・柏崎市社会教育委員長が大会実行委員長、安澤和雄・刈羽村社会教育委員長が副実行委員長を務めた。

講演では、権田恭子・新潟産大准教授が「地域に学び、地域をおこす」地域連携活動を通じた学生の成長などを紹介。同地域連携センター長である権田准教授は「地域を『知る』、地域の方と『交流する』、地域のために『行動する』」。

柏崎市が開催地になった第24回新潟県社会教育研究大会。講演会、分科会が進められた。市民プラ

新潟産大
紅葉祭盛況
800人楽しむ
気象講演で災害備え
新潟産大の学園祭「紅葉祭」
が12・13日、模擬店や教室
祭（学生実行委員会主催）
が12・13日、模擬店や教室
イベント、スタンプラリー、
キッズダンス、お笑いライブ
などが多彩に繰り広げられ
た。約800人が訪れ、
同大のキャラクター「サン
チャック」、えちごんと
一緒に記念撮影する子ども
もいて人気を集めた。

このうち、12日の文化講
演会は「気象災害にどう備
えるか」をテーマに、現在
TBSテレビ「Nスタ」に
出演中の気象予報士・防災
士の國本未華さんが気象情
報の活用と早期対応を呼び
掛けた。

國本さんは「気象ニュースなどでもよく50年に一度と言
われるが、それには基準がある。柏崎の場合だと48時間降雨量318ミリ、3時間降雨量114ミリ」と紹介。
また「災害時にはハザードマップがすごく有効。2019年の台風19号での千曲川氾濫域とほぼ一致する」として、「災害リスク情報を避難所などを地図に重ねて表示できる「ハザードマップポータルサイト」や気象庁の「キキクル（危険度分布）」の活用を始めた。
最後に「災害への備えは個人だけでなく、サイトの活用やコミュニケーション全体での連携が不可欠。気象変動により、これからも災害リスクの増加が予測され、早めの準備と適切な情報の共有が求められる」とした。

坂井朝樹・実行委員長
(2年)は「初回は元気な子どもたちのダンス、力強い和太鼓の演奏に歓声が上



紅葉祭で気象災害への備えをテーマに講演した
國本未華さん／新潟産大

八芳園社長の 井上氏が講演 産大で特別公開講座

30日

新潟産業大学地域連携センターが30日午後3時から、八芳園代表取締役社長・井上義則さんを講師に招き、特別公開講座を同大で開く。対面のほか、オンライン視聴もできる。

八芳園は東京都港区白金台にあり、現在は広大な敷地で「エクスティング事業、宴



「TEAM for WE
D D I N G」では単なる業
績回復ではなく、感動を生
む出すチームづくりに取り
組んだ。講座では、成功の
方法、学びを共有する。

集会・レス
トラン事業
を開催す
る。講演の
テーマは「奇跡のV字回復
を成し遂げたリーダーが語
る『TEAM for
WEDDING』感動を生
み出すチームづくり」と
は。井上社長が実践した
方法、学びを共有する。
参加無料。問合せ、
申し込みは同センター（電
話24・8441、メール
renkei@ada.nsu.ac.jp）
またはQRコード=別掲
など。

2024年（令和6年）10月31日（木） 柏崎日報

新潟産業大学附属柏崎研究所主催 第7回 柏崎学シンポジウム



「既存組織の機能アップ& 市民共創による日常の豊かさをつくる!を考える」

～ 人口減少に対応する創造的な地域活動の視点 ～



12/1(日) 13:00~
16:30

新潟産業大学 202教室

(柏崎市軽井川4730)

参加方法 会場・オンライン 参加無料
定員 会場200人

お申し込み・お問い合わせ先

TEL.0257-24-8664
media@ada.nsu.ac.jp



参加申込締切:11/28(木)

Zoom
同時開催

後援／柏崎市、刈羽村、出雲崎町、新潟県柏崎地域振興局、柏崎商工会議所、(一社)柏崎青年会議所
(予定) 柏崎市コミュニティ推進協議会、柏崎日報社、柏崎コミュニティ放送

第一部

地域からの活動報告 13:10~14:20 頃

- 新潟産業大学安達ゼミ 村上翔琉さん、奥野飛龍さん
- 海辺のキッチン俱楽部もく代表 黒崎朝子氏
- 南鶴石コミセン ワイワイ里山振興部長 石塚雄一郎氏
- 西長島なじらね代表 池田司史氏
- umicafe DONA 代表 柏植香織氏

※質問・コメントコーディネーター／産大・小林健彦 教授、金光林 教授、濵谷朋樹 助教

第二部

パネルディスカッション
「創造的な地域活動の視点」 14:30~16:20 頃

- パネラー／上越市札(そま)事務所代表 関原剛氏
- 株式会社ヒューマンルネッサンス研究所
エグゼクティブ・フェロー 中間真一氏

・柏崎研究所主席研究員 春日俊雄

※コーディネーター／西村達平氏(学校教育やまちづくりで活躍)